

令和2年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①新学習指導要領を基盤にクリエイティブスクールの特性を融合した新しい教育課程を確立する。 ②生徒が学ぶ楽しさを実感できるような授業方法を確立する。	①改良点を洗い出し、令和3年度より新教育課程を意識した見直しを行う。 ②生徒が「わかる」という授業方法を研究授業を重ねながら大和東スタンダードを構築する。	①教育課程検討WGを中心に検討する。 ②研究会を立ち上げ、生徒がわかる授業について検討及び共有する。	①令和3年度の教育課程ができたか。新学習指導要領に則った教育課程表ができたか。 ②共有した内容を授業で実践したか。また、実践した内容が生徒に反映されたか。					
2 生徒指導・支援	組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に向き合える環境を整える。	・全職員が共通認識の中で、生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・コア会議・ケース会議及び生徒支援会議等を活用した教育相談体制によりチーム支援に取り組む。	・生徒、職員及び保護者を対象とした講演会や研修会、またボーダーカフェをさらに活性化させる。 ・生徒の個別面談の回数を増やしたりアンケートを活用して、生徒のかかえている課題を早期に発見する。	・家庭への働きかけも含め、全職員が共通認識を持つことで生徒の基本的な生活習慣と規範意識の向上が見られたか。 ・生徒の困り感を早期に発見し解決できたか。					
3 進路指導・支援	組織を機能的かつ急進的に動かすとともに、地域や外部機関との協働により生徒の自己実現をサポートし、自立できる力を育てる。	新しい学習システムを導入し、活用方法を追求するとともに、生徒のキャリア支援を図る。	スタディサプリを導入し、生徒の主体的な活動をめざす。	スタディサプリを導入することで、学習面での理解があがったか。生徒の探究活動など主体的な活動ができたか。					
4 地域等との協働	①保護者や地域との協働による開かれた学校づくりを確立する。 ②市との協働事業等に積極的に参加する。	①地域の中で本校生徒が主体的に防災に取り組む姿勢を確立する。 ②市との協働事業やボランティア等の参加回数を増やす。	①自治会、消防署及び近隣小学校と協働した防災訓練を実施する。 ②小学校、中学校だけでなく行政主催の行事にも積極的に生徒を参加させる。	①訓練を終えて生徒の参加人数が昨年より増えたか。また生徒の防災意識が高まったか。 ②参加回数並びに生徒及び主催者のアンケート評価。					
5 学校管理 学校運営	①教育環境の整備と広報活動の充実に取り組み、開かれた学校づくりを進める。 ②安心・安全の学校づくりを基本に情報管理を徹底する等、事故不祥事ゼロとする。	①HP等で学校の教育活動や取組状況を発信する。 ②事故防止会議を通じて事故防止のポイントの周知を図る。	①学校説明会の参加者を増やす。 ②事故防止会議後、職員にアンケートを行う。	①学校説明会の参加者数とアンケートによる評価を活用する。 ②事故・不祥事をゼロにできたか。					